

地球の彫刻家

大河津分水の大改修が進んでいま... 母なる河でもあるが、かつて越後平野に壊滅的な水害を与えてきた信濃川。日本海への分水路として大正11年の完成から100年ぶりの大事業を「どうしても視察したい」と信濃川河川事務所長に願って5月末に実現しました。深く感じ入りました。

視察中、2つのことを思い出していました。1つは、国土の均衡ある

発展を掲げた『日本列島改造論』を引っ提げて首相に上り詰めた田中角栄さん。評伝や伝記を若い頃に多く読みましたが、その中のエピソードです。それは氏が少年の頃、日雇い仕事に行った建設現場でのこと。現場の長老が田中少年に、「土方はいちばんでかい芸術家だ。あのパナマ運河もスエズ運河もみな土方が造ったんだ。土方は地球の彫刻家だ」という言葉が「その後の私の将来を決づけた」と伝わる話。少年は何を思ったのか。

2つ目は、国民的作家だった司馬遼太郎の『瀉のみち』という作品の

こと。県央、特に蒲原の農作業の苦しみが描かれていて、胸までつかる。湿田に船を浮かべて稲を刈る、水害に悩まされながらも営みを繋ぐ農民たちの格闘の姿が写る古写真を見た作家は激しく心を揺さぶられ、これを著したそうです。越後平野が国内有数の大穀倉地帯となったのは大河津分水の建設によるもので、広大な土地を生み、交通体系の礎など、その恩恵は計り知れず、インフラ整備の真価を思うのです。

分水建設は難工事続きだったそうです。第二河床の基礎部崩落という惨事から見事に再建させ、伝説の技師と言われた青山土の遺した言葉が、堰の脇に建つ記念碑に。「人類ノ為メ、國ノ為メ」。後世、この碑の前に立った棟方志功は大感激し作品を作ったといひます。青山は後に請われてパナマ運河の建設に辣腕を振るったのだと。何かのためになる生き方。建設業や技術職の人材不足が世に言われて久しい。南魚沼の子どもの多くにこの偉業を見てもらいたい、現場を歩きながら思っていました。彼らは何を思うか。

健康ひろば



【問合せ】健康推進課 ☎773・6811

胃がんと子宮頸がんの検診 予約空き状況(住民健診)

胃がんと子宮頸がんの検診がキャンセルなどによって空きが出たため、お知らせします。

予約空き状況 7月以降の日程。詳しくは健康推進課へお電話ください。

検診受付時間 7:30～10:00

※子宮頸がんは9:30まで

持ち物 事前送付文書一式、マイナ保険証または資格確認書、不織布マスク

※その他、詳細は市報4月号折り込みの住民健診カレンダー(QR)をご覧ください

詳しくは



救急医療 ～夜間などに困ったときは～

電話相談

時 19:00～翌日8:00(毎日)

・新潟県救急医療電話相談

対 15歳以上

☎ 025・284・7119(#7119でも可)

・新潟県小児救急医療電話相談

対 15歳未満

☎ 025・288・2525(#8000でも可)

LINEで相談「AI救急相談アプリ」

救急医療の相談や緊急度の判定ができます。

全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」

緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供します。事前にアプリをダウンロードして、いざというときに備えましょう。

休日・夜間救急 連絡先

・南魚沼市民病院 ☎788・1220

・魚沼基幹病院 ☎777・3220

・齋藤記念病院(脳神経外科救急) ☎773・5111



AI救急相談アプリ



総務省消防庁ウェブサイト



市ウェブサイト

詳しくは

成人歯科健診を受診しましょう

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで成人歯科健診を実施しています。対象者には受診券を郵送済みなので、詳しくは受診券に同封の案内を確認ください。